

タイトル『小説 映画 ドラえもんがいた宝島』

著者：涌井 学

出版社：小学館文庫

この小説はドラえもん独自のコミカル感のあるおもしろさが

あるけれどこの作品は独自の面白さに原作とは別のストーリーが  
意外な人との関わりや真実そして物語の総括の向にある  
感動などがプラスされドラえもんという作品がもっとよくなった  
ような作品です。

投稿日 2021 年 11 月 18 日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

初見推し

年齢

14

仙台市 宮城野図書館 YAコーナー